

R & D の戦略

— 状況認識の共有を目指して —

1. 定例 Collaboration Meeting での報告:

- ・ 毎回、各サブシステムごとにR&Dの現状を短時間で報告
- ・ 口頭を原則（必要に応じて配布資料、プロジェクト併用）
- ・ 時間をかけた議論が必要な場合は予め議事をアレンジ

2. PLUS (Preparation for LCGT Urgent Start)

- ・ この1年間のR&D 項目の洗い出し
- ・ R&D のここでの定義： LCGT スタートに至るまでの準備を全て包含。

R & D の戦略(続)

— 状況認識の共有を目指して —

LCGT R&D 戦略の策定

- ・時期: PLUS の議論の直後
- ・対象: クリティカルなR&D項目のシナリオの整理
- ・LCGT のR&Dの考え方
 - 本来はプロジェクト開始前(2011. 3)に完了すべき
 - R&D 予算が認められない現状では、LCGT 開始後も継続(一部のR&DはLCGTが始まった後に開始！ — 変則だが止むを得ない: 予算を要するR&D 項目)

LCGT Development Phase

We are here! (本来なら!)

